

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

エジンバラ産後うつ病質問票の結果に影響を及ぼす周産期因子		
1. 研究の対象および研究対象期間 2023 年 4 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日に昭和大学横浜市北部病院 産婦人科で分娩をした方		
2. 研究目的・方法 エジンバラ産後うつ病質問票は産後うつ病の指標となり、高い点数になった場合、産後うつ病になる可能性が高いといわれています。本研究では、この質問票が高い方はどのような病気や分娩だったか、育児環境はどうであったかをカルテの情報から調査し、ご出産後のより良い診療体制を築いていくための参考にしていきたいと考えております。		
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026 年 3 月 31 日まで		
4. 研究に用いる試料・情報の種類 カルテ記載より職業、年齢、体外受精、初産、甲状腺機能異常、双胎妊娠、妊娠糖尿病、妊娠高血圧症候群、前置胎盤、COVID 感染、精神科受診、体重増加量、分娩様式、早産、分娩時出血量、会陰裂傷、出生児体重、Apgar Score、児の形態異常、シングルマザー、育児のサポート状況、経済的状況の情報、エジンバラ産後うつ病質問票の点数を用います。		
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません		
6. 研究組織 研究責任者 昭和大学横浜市北部病院 大場智洋		

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院 氏名：大場智洋

住所：神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号：045-949-7342